

2022年7月1日09:30 (日本時間) / 00:30 (協定世界時) まで公開禁止

auじぶん銀行 日本製造業PMI®

6月の製造業の業況は、緩やかなペースで成長

主な動向

新規受注数の停滞を受け、生産高は成長に足踏み

製品販売価格の上昇は最大ペース

景況感、直近3か月の最高水準に回復

2022年6月のデータ収集期間：2022年6月13～23日。

日本の製造業における6月の成長率は、5月から緩やかになったものの、業況がさらに改善したことを示した。企業らは膨れ上がるコストや終わらない原材料不足の現状が、生産高の上昇鈍化に影響していることを指摘。新規受注数の増加は若干だった。サプライチェーンの混乱と納期長期化も改善をみせず、コスト増に拍車をかけた。結果、工場渡し価格は調査史上最大ペースで急増した。しかし、企業らは、今後一年間でこうした問題が緩和されるだろうと強気の姿勢をみせ、景況感の上昇は3月以来最大だった。

6月の主要指数のauじぶん銀行日本製造業購買担当者指数™(PMI) (製造業の全体的業況を表す指標)は、5月の53.3から52.7へ若干下落した。成長は17か月連続に及ぶが、増加率は昨年9月以来最も緩やかだった。

PMI指数成長の足踏みには、新規受注数の停滞が影響している。いまだ成長傾向にはあるものの、最近の売上高成長はわずかで、9か月連続に及ぶ直近の成長期間では最低水準だった。需要の低迷については、原材料不足と納期長期化が続く中、価格高騰と顧客の購買意欲が低下していることが要因として指摘された。企業らは、6月の新規輸出売上も減少したことを指摘。これで4か月連続に及ぶ。しかし、ロックダウンの続く中国の低迷が北米の強い需要成長に相殺され、減少は小幅だった。

6月は生産高も成長は鈍化し、成長率は若干となり、直近4か月間の最低値を記録した。企業らは、原材料不足と価格高騰が生産高に大きく影響したことを指摘した。

日本の製造企業は6月、25か月連続に及ぶ平均間接費の上昇を指摘した。しかし、購買コストのインフレ率は4か月ぶりに緩やかになり、全体的にはまだ急速ではあるが、2月以来最も緩やかになった。購買価格の上昇に関しては、膨れ上がる原材料コストと、円安による輸入材料の価格高騰の影響が広く指摘された。しかし、企業らは上昇したコストを販売価格の引き上げにより顧客に転嫁しようとしたため、販売価格が調査史上最大の上昇率を記録した。

(次頁に続く)

auじぶん銀行 日本製造業PMI
季節調整済み、>50 = 前月比で改善



出典：auじぶん銀行、S&Pグローバル

コメント

S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス、Usamah Bhattiによる最新調査結果についてのコメント

「6月のPMIデータは、日本の製造業の成長がより緩やかに推移していることを指摘した。業況の健全性は、新規受注数の広範な停滞と生産高成長の鈍化の中、9か月ぶりの低水準を記録。調査回答企業らは、サプライチェーンの混乱と納期長期化が続く中、価格高騰と高まる供給圧力が事業活動を抑制したとコメントを寄せた。

最新の調査期間でもインフレの圧力が生産高と需要を圧迫。特に半導体の深刻な原材料不足と納期長期化がこの要因に挙げられた。購買価格のインフレが4か月ぶりに緩やかになるも、企業はさらにコスト上昇分を顧客に転嫁したため、工場渡し価格は調査史上最大の上昇率を記録した。さらに、企業らは今後の価格高騰とサプライチェーンの混乱に備え、原材料の安全在庫増強にも努めた。

しかし、今後12か月にわたる生産高の見通しについて、6月の景況感は3か月間で最も強かった。サプライチェーンの混乱とインフレ圧力が落ち着き、需要と生産高増大につながるだろうとの期待が織り込まれている。概ね、製造業生産高が2022年は2%成長、2023年にはさらに成長が加速するという予測通りである。」

6月の購買活動は増加。これで9か月連続に及び。しかし、納期長期化や原材料不足、価格高騰といった要素により原材料の追加確保は難しく、拡大圏における伸びは小幅にとどまり、最も遅いペースだった。企業らは、今後のサプライチェーンの混乱と価格高騰に対処するため、原材料や購買品を追加購入し、安全在庫を増強。これを受けて、購買品在庫の増加は1月以来となった。サプライヤー納期の悪化ペースは、全体的にははまだ急激ではあるが、4か月間で最も鈍化した。

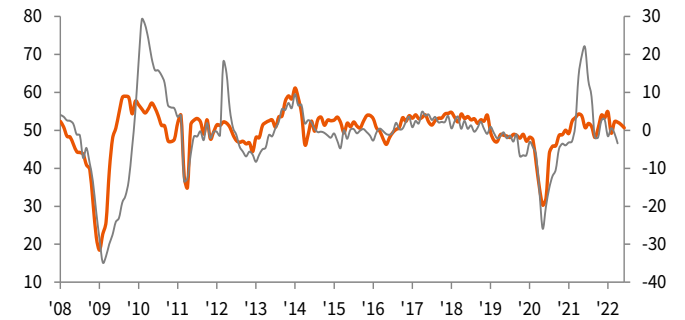
6月も雇用者数は増加。雇用増加率は5月の緩やかなペースと比較し、広く変化なしだった。新規受注数の動向に伴い、受注残も同様に緩やかなペースで増加。調査回答企業の多くは、原材料不足を受注残増加の要因に指摘した。

今後一年間の生産高に対する見通しについて、企業は強気の見方を維持。サプライチェーンの混乱やインフレが落ち着くと共に、パンデミックも世界的に収束するだろうとの期待から、景況感は3か月間の最高値を更新した。

PMI生産高指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加

製造業生産高
前年比 (%)



出典: auじぶん銀行、S&Pグローバル、経産省

お問い合わせはこちらどうぞ

auじぶん銀行

Grp-S-I-Room@jibunbank.co.jp

Usamah Bhatti

エコノミスト
S&Pグローバル・マーケット・

インテリジェンス

電話: +44 1344 328 370

usamah.bhatti@spglobal.com

Joanna Vickers

コーポレートコミュニケーション

S&Pグローバル

電話: +44-207-260-2234

joanna.vickers@spglobal.com

調査方法

auじぶん銀行日本製造業PMI®は、S&Pグローバルが製造業約400社の購買担当者に毎月調査を行い、その回答をもとにまとめています。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数(ディフュージョン・インデックス)を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数は購買担当者指数™(PMI)です。PMIは次の5つのサブインデックスの加重平均です: 新規受注(30%)、生産高(25%)、雇用(20%)、サプライヤー納期(15%)、購買品在庫(10%)。ただしサプライヤー納期指数は、結果として得られる数値が他の指数と比較可能になる計算方法で算出しています。

基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調整要因は必要に応じて修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

2022年6月のデータ収集期間: 2022年6月13~23日。

PMI調査方法の詳細は、economics@ihsmarkit.comへお問い合わせください。

免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はS&Pグローバル・インクに帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、S&Pグローバル・インクから事前の承諾がない限り認められません。S&Pグローバル・インクとauじぶん銀行は、当レポートの内容またはそこに含まれる情報(「データ」)、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱漏、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものでなく、またこれにもとづきとられたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、S&Pグローバル・インクとauじぶん銀行は一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はMarkit Economics Limitedの登録商標、もしくはMarkit Economics Limitedの使用が許諾されたものです。S&P GlobalはS&P Global Ltd.及び/又はその関連会社の登録商標です。

ここに提供するコンテンツは、S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンスが公開しています。S&Pグローバル・インクの別部門であるS&Pグローバル・レーティングが公開するコンテンツではありません。関係当事者から書面による事前の許可がない限り、形態を問わず、評価を含むいかなる情報、データ、資料(「コンテンツ」)の複製を禁止しています。関係当事者、関連会社、サプライヤー(「コンテンツプロバイダー」)は、コンテンツの正確性、妥当性、完全性、適時性、可用性を保証しません。また、いかなる間違いや脱漏(疎漏など)、あるいは当該コンテンツの使用により生じた結果に対して責任を負いません。コンテンツのいかなる使用に関連するあらゆる損害、コスト、費用、弁護士費用、または損失(喪失利益や逸失利益、機会費用など)について、コンテンツプロバイダーは一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

auじぶん銀行日本PMIのスポンサーは

auじぶん銀行株式会社です

auじぶん銀行は2008年にKDDIと三菱UFJ銀行の共同出資により設立されたネット専門銀行です。「手のひらにある銀行」として、口座・金融商品・決済などに関して、スマホユーザー視点でサービス展開をしております。キャッシュカードなしで入出金が可能な「スマホATM」、為替相場の動きを予測する「AI外貨予測」、Amazon Alexaへの対応など、ユーザーエクスペリエンスを豊かにするために様々な取り組みを行っております。

S&Pグローバルについて

S&Pグローバル・インク(NYSE: SPGI)は、必要不可欠なインテリジェンスを提供します。適切なデータ、専門知識、コネクテッドテクノロジーの提供により、政府機関、企業、個人が確信を持って意思決定を行うことを可能にします。新規投資案件の評価から、サプライチェーンにおけるESGやエネルギー・トランジションまで、世界中において新たな機会を発掘し、課題を解決し、成長を加速させます。

世界の資本市場、コモディティ市場、自動車市場において、信用格付け、ベンチマーク分析、ワークフローソリューションを提供し、グローバルのお客様の成長発展を支援します。詳細についてはウェブサイトをご覧ください: www.spglobal.com

S&Pグローバルのプレスリリースを受け取りたくない場合は、katherine.smith@spglobal.comへお知らせください。弊社のプライバシーポリシーは、[ここをクリック](#)してください。

PMI(購買担当者指数)

「購買担当者指数™(PMI®)」調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、ihsmarkit.com/products/pmi.htmlをご覧ください。